

大会派主導の正副議長人事に厳しい審判

議長選で橋爪には10票、白票は4票も

臨時議会が20日招集され、正副議長人事などが行われました。

日本共産党議員団は、4年前と2年前の正副議長人事では他会派候補と議会運営などについて協定書を交わし共同してきましたが、今回は大会派主導で選考作業が進められ、私たちに對する協定の働きかけもなかったことからそれぞれ独自候補を立ててたたかいました。

議長選は、創風クラブの瀧澤逸男議員と私の争いになりました。

投票結果は瀧澤逸男議員34票、橋爪10票、無効（白票）4票でした。

副議長選は新政の岩崎哲夫議員と日本共産党議員団幹事長の上野公悦議員とのたたかいとなりました。

投票結果は、岩崎哲夫議員が33票、上野公悦議員が6



票、それと所信表明をしなかった小林克美議員が2票獲得しました。ここでも白票は7票もありました。

議長選の投票結果が出た瞬間、議場内から「すごい」という声

が聞こえました。臨時議会の前日に立候補を決め、他会派に働きかけるいとまもないなかでよくとれたものです。私への投票と白票の合計が14にもなった底流には大会派主導で進められたことに対する反発があります。副議長選結果も同じです。議会の3分の1ほどの議員が「異議あり」の審判を下したことの意義は大きく、今後の正副議長選挙に影響を与えるでしょう。

所信表明で3つの約束

投票前に行われた所信表明演説。私は、まず、「上越市は14市町村が合併して6年目となるが、市民の暮らしも営業もかつてなく厳しい状況が続いている。市民のいのちと暮らしを守るためには48人の議員の知恵を結集して議会の責務をしっかりと果たさなければならぬ」とのべました。

そのうえで、①公平、中立の立場で民主的、効率的な議会運営に努める、②秋にも制定されるであろう議会基本条例に沿った議会運営に最大限の努力をしていく。具体的には、市民の皆さんのご意見、ご要望をしっかりと反映させる議会、議員間で大いに議論し、審議を尽くす議会、行政をしっかりとチェックすると同時に政策提言、議員立法をどんどんやっていく議会をつくっていく、③上越市議会の代表として信頼されるよう日夜研鑽を積み、努力していく、という3つ約束をしました。

所信表明の時間は5分という制限があります。限られた時間の中で、どれだけ私の思いが

伝わったかはわかりませんが、保守会派の人たちからも「いかったよ」「市民は見ているよ。がんばったね」などの声をかけていただきました。市議になって初めての議長選立候補でした。いい経験をさせてもらいました。

活発な発言、議会への注文も

柿崎、高田で議会主催の議会報告会



市議会主催の議会報告会が14日（高田）、18日（柿崎）と開催されました。

柿崎地区公民館を会場にした議会報告会では6人の人が発言しました。トップは上下浜のSさん、「国が本社なら市は営業所だ。無駄はゼロにするのが当たり前、なくしてほしい」と訴

えましたが、いまの政治に対する怒りを爆発させるような発言でした。三ツ屋浜のKさんは、上越にも塩の道があったとして、それを活用した地域振興や海岸浸食などについて発言しました。海岸浸食に関しては、「これまで何度も県に働きかけているが、10年経っても手つかずだ。こんなことがあっていいのか」と議会に現地調査と積極的な対応を求めました。この他、大潟区のKさんの新幹線新駅などについての発言も印象に残りました。

高田会場では、豪雪対策などのほか、「行政組織改編については1年を待たずに第一4半期からビシビシとチェックを入れてほしい」など議会への注文が相次ぎました。（写真は柿崎会場）

常任委員会・特別委員会の正副委員長決まる

20日の臨時議会では任期切れとなった市議会常任委員会委員の選任や常任委員会・特別委員会などの正副委員長の互選が行われました。

今回の正副委員長互選から、立候補者は委員会運営などについての所信をのべることになりました。これは18日の各代表者会議において私の方から議会改革のひとつとして提案させてもらい実現

したものです。各委員会では互選に先立ち候補者が、当面する委員会の課題にどう立ち向かうか、委員会の運営についてどうするかなどの所信をのべました。

今回の正副委員長の互選では初めて投票が行われたところもあります。文教経済常任委員会では副委員長の候補者が中川幹太委

員と上野公悦委員のふたりとなったため、投票が行われ、上野委員が10票を獲得し当選しました。中川委員は2票でした。

今回の正副委員長人事では市議一期生、二期生が大勢選ばれました。今後の活躍に注目です。また、日本共産党議員団からは、文教経済常任委員会の上野公悦委員が、新幹線・並行在来線対策特別委員会で平良木委員が副委員長に選ばれましたが、常任委員会と特別委員会の2つの委員会で委員会の役割に選ばれたのは初めてのことです。

総務常任委員会 12人	厚生常任委員会 12人	建設企業常任委員会 12人	文教経済常任委員会 12人
滝沢一成	平良木哲也	内山米六	○上野公悦
笹川栄一	○林辰雄	樋口良子	波多野一夫
塚田隆敏	鴨井光夫	山崎一勇	中川幹太
○高波勝也	瀬下半治	○渡辺隆	大島洋一
橋爪法一	◎柳沢周治	滝沢逸男	武藤正信
矢野学	森田貞一	田中吉男	草間敏幸
吉田侃	水澤弘行	塚田俊幸	江口修一
宮崎政国	石平春彦	岩野虎治	◎田村武男
松野義之	岩崎哲夫	杉田勝典	小関信夫
◎飯塚義隆	佐藤敏	近藤彰治	上松和子
栗田英明	小林章吾	◎小林克美	永島義雄
本城文夫	山岸行則	大島武雄	古澤弘

議会運営委員会

上野公悦	滝沢一成	瀬下半治	○武藤正信
内山米六	笹川栄一	柳沢周治	上松和子
森田貞一	水澤弘行	◎栗田英明	佐藤敏

新幹線・並行在来線 対策特別委員会 12人	中山間地対策 特別委員会 12人	中心市街地活性化 対策特別委員会 12人	第三セクター等 特別委員会 12人
○平良木哲也	中川幹太	林辰雄	上野公悦
◎波多野一夫	鴨井光夫	○滝沢一成	瀬下半治
大島洋一	武藤正信	樋口良子	内山米六
高波勝也	○笹川栄一	◎松野義之	草間敏幸
渡辺隆	橋爪法一	滝沢逸男	柳沢周治
飯塚義隆	山崎一勇	江口修一	◎塚田隆敏
塚田俊幸	◎宮崎政国	上松和子	矢野学
近藤彰治	田中吉男	永島義雄	吉田侃
小林克美	小関信夫	栗田英明	田村武男
石平春彦	岩野虎治	本城文夫	○杉田勝典
岩崎哲夫	大島武雄	佐藤敏	森田貞一
古澤弘	山岸行則	小林章吾	水澤弘行

◎印は委員長。○は副委員長